

小学校版「SOSの出し方指導プラン」(小学校高学年)

- 1 ねらい 自己の生活を振り返り、解決方法を話し合うことで、相談のよさについて理解できるようにする。
- 2 準備 ワークシート スライド 電子黒板 パソコン 拡大資料 付箋
ホワイトボード(小) 場面絵 掲示用ホワイトボード
- 3 展開

過程 (時間)	主な学習活動 ☆：児童の反応	指導上の留意点及び支援 指：指示 発：発問
(3分)	<p>1. 本時のねらいをつかむ</p> <p>○事前集会の内容をスライドから思い出し、本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>☆嫌な気持ちになる。</p> <p>☆悲しくなる。</p> <p>☆お腹が痛くなる。</p> <p>☆学校がつまらなくなる。</p> <p>☆給食が食べられなくなる。</p> <p>☆勉強がしたくなくなる。</p> <p>☆頭が痛くなる。</p> <p>☆誰とも話したくなくなる。</p>	<p>・事前集会で使用したスライドを提示し、集会の内容を想起させることで、本時の学習の見通しがもてるようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>発：「モヤモヤが濃くなったり、増えたりすると、自分の心や体はどうなってしまおうと思いますか？」</p> <p>・いくつか考えが出されたら、本時のめあてを黒板に提示し、視覚的にも捉えられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>めあて：「こころのモヤモヤ」の解決方法を考えよう。</p> </div>
(5分)	<p>2. 悩みや困ったという具体的な場面での気持ちを考える。</p> <p>○どんな場面かを聞き、自分ならどう思うか考える。</p> <p>・勉強が分からない時 →イライラする、つまらない</p> <p>・自分だけ分からない →恥ずかしい、もう嫌だ</p> <p>・友達にからかわれた時 →何でだ、くやしい</p> <p>・友達とケンカをした時 →くやしい、悲しい</p>	<p>・これまでの生活経験から、こころがモヤモヤした時について考えることで、本時の内容がより身近な問題として捉えられるようにする。</p> <p>発：「このような場面では、どんな気持ちになりますか？」</p> <p>・視覚的に捉えられるように、場面絵を用意しておく。</p> <p>・場面絵を提示しながら、どのような気持ちになるか聞き、同じような経験があるか確認する。</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;">     </div>
(10分)	<p>3. 「こころのモヤモヤ」をすっきりさせる方法を話し合う。</p>	<p>・自分のこれまでのことを伝え合うことで、いろいろな考え方に触れることができるようにする。</p>

(15分)

○どのようなことをすれば「こころのモヤモヤ」をすっきりさせることができるか付箋に書く。

☆好きなものを食べる。

☆ゲームをする。

☆本を読む。

☆体を動かす。

☆寝る

☆誰かに相談する。

・ すっきりさせる方法をグループで伝え合い、いろいろな方法があることを知る。

・ グループで出てきた方法を、全員で共有する。

○誰かに自分の気持ちを伝えること（相談）のよさを考える。

・ 誰かに相談することのよさについて、ワークシートに自分の考えを書く。

・ 出てきた考えをグループでまとめる。

・ 黒板に掲示してある拡大資料を見せて、次の活動で出された方法をまとめることを確認しておく。

発：「どのようなことをすればこころのモヤモヤをすっきりさせることができるでしょうか？付箋に書きましょう。」

指：「自分でやってみた方法や、やってみたい方法が書けるといいですね。」

・ 2枚の付箋に書くよう伝え、必要であれば更に書いてよいとする。

・ 児童の様子を見ながら、すっきりさせる方法について考え方が広がるように声を掛ける。

指：「グループシートに貼りながら、出された考えをグループで伝え合いましょ

う。」
・ グループになって、付箋に書いてある内容を友達に伝えながらグループシートに貼るように伝える。

・ 「一人だとできない方法」「一人で、できる方法」「どちらも重なる方法」の、どの場所に貼ればよいか話し合いながら完成できるように声をかける。

・ 出された方法を拡大資料に記入する。

・ どの方法もそれぞれのよさがあることを認め、望ましくない方法が出てきた場合は、こころのモヤモヤが濃くなったり増えてしまったりすることを伝える。

発：「こころのモヤモヤが、よりすっきりするのは、どの方法でしょうか？」

・ 「一人だとできない方法」にある「相談する」が、よりすっきりする方法につながるように拡大資料を使って方向付けていく。

・ グループで話し合う視点となるように「相談することのよさとは？」のプレートを提示し、自分の考えがもてるようにする。

発：「誰かに相談することのよさは何でしょうか？ワークシートに自分の考えを書きましょう。」

・ 自分なりの考えをもてるように声をかける。

指：「グループで自分の考えを伝え合いましょ

<p>(7分)</p>	<p>4. 相談のポイントを確認する。</p> <p>○「相談の出し方さん」について、内容を知る。</p> <p>・ワークシートに、「相談の出し方さん」の内容を書き足す。</p> <p>○T2の先生（養護教諭）の話聞く。</p> <p>・誰かに相談できることのよさについて理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表用ボードに書く内容は、キーワードでもよいことを伝える。 ・班ごとに発表して、考えを共有する。 <p>指：「誰かに相談をするときに伝えられるとよいポイントがあります。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>補助説明</p> <p>「どんなことがあったか」（場面）「どう思ったか」（感情）「どうしたいか」（実行）の三つで、相談の出し方さんといいます。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・座席を直すよう指示をし、プレートを黒板に提示することで、視覚的に捉えられるようにする。 ・T2の先生（養護教諭）より、「誰かに相談することができることのよさ」等について話してもらい、児童の考え方を広げたり本時の学習内容の理解が深まるようにしたりする。
<p>(5分)</p>	<p>5. 授業内容の振り返りをする。</p> <p>○本時の感想を書く。</p> <p>☆モヤモヤが濃くなったり、増えたりしないように、生活したい。</p> <p>☆相談の出し方さんを使って、相談できる人をたくさんつくりたい。</p> <p>☆モヤモヤが出てきたら、誰かに相談してみよう。</p> <p>☆自分なりの方法を見つけて、モヤモヤをすっきりさせていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こころのモヤモヤは、「誰かに相談することができる」と、薄くなったり、減ったりする」ことを伝える。 ・誰に相談をするかについても意識できるように「相談の出し方さん」の四つ目にある、「誰か」の部分に触れておく。 <p>指：「誰に相談をしようか考えることも、自分の気持ちを伝えやすくなる方法の一つです。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で分かったことや、これからできそうなことを書かせる。 ・自己評価は、自分の気持ちに近いマークに丸を付けるように伝える。 ・数人の児童に感想を発表させ、全体で共有できるようにする。

相談することのよさを考えよう!

年 組 番 名前 ()

☆どんな方法で「こころのモヤモヤ」をすっきりさせますか？



☆だれかに相談することのよいところは？



☆相談の出し方さん

<p>出し方さん① </p> <p>だれに _____ と _____</p>	<p>出し方さん② </p> <p>だれに _____ と _____</p>	<p>出し方さん③ </p> <p>だれに _____ と _____</p>
--	---	--

☆授業の感想やこれからの生活に生かせることを書きましょう。

☆モヤモヤをすっきりさせる方法が分かりましたか？
自分の気持ちの近いところに○をつけましょう。



とても分かった

あまり分からない

☆ グループシート (班)

一人だとできない方法

一人で、できる方法

どちらも重なる方法